

29年第4回喬木村議会定例会総括

平成29年12月19日 13:00～

【議会運営委員会】11月24日開催 午前9時から10時30分

- ・報道対応の協議に時間を要し通常よりも1時間超過した。議会運営委員会で決定した事項を本会議終了後の12月4日全員協議会で伝達したが、当初予定のとおり当日のうちに議員全員協議会を開催すべきであった。

→議会運営委員会開催日の夜間議員全員協議会を開催する日程にすることと決定した。

【定例会の日程について】

- ・年末の繁忙期を想定した会期日程であったか。本会議の日程調整は村長の出席可能な日を調整する必要がある。2ヶ月前から最終的な日程を確認している。

(補足説明)

→年間計画を作成する際に議員の実情を反映した会期日程を作成するために今一度就業実態調査を元に素案を作成する。年間の行事に加えて委員会の年間計画、議員活動日程、就業状況を調整する。一般質問にあっては、土曜日・日曜日の開催について賛否両論の意見が寄せられているが、議員の都合を優先したい。

【事前資料の配付について】

- ・議案メールが22日、議運及び議案配布が24日であり日がないため、画面上での確認が主となった。

(説明)

→今回は一番早いスケジュールで情報提供した事をご理解いただきたい。

・資料に目を通すことは、時間のゆとりがあったので、一通りの内容を頭に入れることができた。(内容理解とは別に)

・説明資料は大変参考となった。説明資料の頭に、本予算書のページ等の記載があると対応しやすい。

(説明)

→事務局には余裕がありません。各自対応すべき事かと考えます。

・余裕のある事前配布で良かった。資料を印刷して見る事が出来た。議案がわかり内容を検討することが出来た。

・事前資料が開けなかった。コンピュータのスペックが古い。何とかならないか。

→事前資料配付は今回イレギュラーなこと。本来ならば議員が議案を読んで質問すべき項目を事務局通じて情報共有する事となっていたが、9月定例会では全く行われなかった。今回も同様に議員から質疑項目が何も出てこなかった。2時間という夜間の審議前に理解いただいて、実施するために局長が質問項目をピックアップして職員に説明資料を作成してもらった。これを次にやるのかどうか。やるんなら議員が質問項目を出してやるのかを議論して欲しい。

→3月定例会は、議会運営委員会で議案審査して、その日の夜に議員全員協議会を開催し、全員で検討して資料提供を求めることと決定。

【会期・日程について】

・委員会の日程を後半にしてくれて事前の調査・研究には助かったが、何人の議員が活用しきったか。

- ・理事者含む会期、日程と思われ適当である。
- ・会議日程が早いので、議案の受け取りが早めにできて良かった。
- ・会期については、議案配布から開会まで10日余り、開会から一週間位あとで、社文、総務の委員会を設定しているが、あまり後半に持っていないかなくとも良いのでは。

(改善・提案)

→

- ・開会、予算決算委員会、常任委員会、は間があり各委員会の検討が出来た。
- ・予備日を2日設けて良かった

(説明)

→予備日は2日設けてありません。1日です。

→予算決算委員会に予備日ではない。総務産業建設常任委員会・社会文教常任委員会において審議時間が足りない場合に予備日であることを再確認願います。

- ・1日の仕事を終えて影響の無い夜間会議に抵抗はなかった

- ・夜間会議は午後7時～10時まで非常に良い時間帯で有った。

(説明)

→午後9時までです。日程を確認してください。

- ・総務建設常任委員会が15日夜間、一般質問16日午前9時開会の日程は厳しかった。準備もあるので一般質問の前は、できれば1日はゆとりをほしい。

(説明)

→一般質問は、9月定例会でも説明したとおり議会招集日から通告すること

ができる。日程は十分に調整できるものとするがいかがでしょうか。

- ・定例会が年4回（3月・6月・9月・12月）に限らず「通年議会」について早い時期に検討して欲しい。
- ・4回の定例会を実施してみて検討が必要であると改めて感じた。
- ・当面は、第一に現在の議員が働きやすい日程で実施すべき。傍聴者を増やす事は第二としたい。

→3月定例会の日程（案）について確認・検討

（予算決算ボリュームが解らないが、その都度検討。質問期間と資料作成は間に合うのか。資料を読み込む時間がとれるのか。予算決算委員会を短縮できないか工夫して見てはいかがか。わかりやすい「」は議案でない。予算書を読み解く力がつかない。審議の方法の検討を。「事務事業評価シート」を活用方法を検討したい。）

→村長のによって変更もあるので予め承知ねがいたい。

→1年間は午後7時から9時までやることとする。（繰り下げはしない。）

【本会議開会】12月4日開催 午前9時から

- ・提出議案・請願陳情が少なかった。内容的に目立った案件がなく質疑もなかった。

【予算・決算常任委員会】

- ・説明が丁寧で長い。各項目（節）の数字の読み上げ必要ない。事業としての説明あればよい。説明資料も配布されていることから、ポイントを要領良く説明し質疑の時間を多く。

（説明）

→補正予算の場合、説明項目、専決予算、当初予算、決算毎の説明方法のル

ール、求める資料を議員の視点で又傍聴者の視点で検討する。

- ・ 予算委員会はミニ一般質問の場。今回の秀逸の質問は、後藤章人議員の「ゴミ袋」と昼神議員の「ゴミステーション」の2問は良かった。
- ・ 審議内容も予算関連に付随し、ごみ袋の問題など地域の問題が提起された。

(改善・提案)

→予算決算委員会は予算に関連する事であればどんな内容でも質疑できる機会。詳細な説明を求める事項は予め要求する必要があると思いますが。

→議案に関係ない事も質問できますが、事前に伝える必要がある。資料を求める場合も同様。

- ・ 予算決算委員会は時間が足りない位質問が有り良かった。
- ・ 説明が長く感じた
- ・ 2時間に不足を感じなかった。15分程度の延長を認めては。2日目は短時間で終わったことを考えると職員が気の毒に思う。
- ・ 予算決算委員会今回の委員会の内容においては、おおむね順調な進行ができたと感じている。
- ・ 今回は8部署の説明・質疑、3特別会計であったが、今後部署の増、議案の増があると2時間の枠はきつくなる。夜間開催は良いが提出議案の量によっては6時ころから開議できればと思うが、勤務等の関係もあるので要検討。

(説明)

→当初より想定済み。委員長の判断で昼間に実施するのかどうか検討を重ねてより良い方法を探るのでは。

- ・予算決算については、予備日というか、今までも討論・採決について別日程で行っている、これらを住民の皆さんに理解していただくことが必要。

(説明)

→「喬木村議会の審議の流れ」を作成したがどう利用するか。HPにも掲載している。地道に議会活動や仕組みを周知してはいかがか。必要があれば増刷します。

- ・予算決算委員会の審議時間が1日ですまずに、16日にも行われたが、このくらいの延長は想定内で概ね妥当であったと思う。

(説明)

→当初の日程を確認いただきたい。延長などしていない。

- ・発言の際、ポケットに手を突っ込んでいる姿勢は説明者に対して失礼だと思う。

(説明)

→議員としての立ち居振る舞いは良かったのか。審議中の姿勢や態度が映像として流れてしまうことも注意が必要。ポケットに手を入れての発言は控えるべきではないか。

- ・今回の傍聴者の感想では、「全くわからない」「難しい」という意見をいただいた。委員会審議の傍聴者を増やす工夫をしなければならない。

(説明)

→事業単位で概要も含めて伝えることができればよいが、委員会でその都度伝えるのは困難。議員活動の中で伝える努力が必要であることから、地元・講演会で活用できる資料の作成とミニ集会の実施が必要ではないか。(折角傍聴にきても二度と来なくなってしまう。フォローが必要ではないか。)

- ・報道陣の大勢には圧倒された感じではあったが、思ったほどには意識

せずに審議に集中できた。

- ・ 予算編瀬に向けて、議会としての意見、要望を提出しても良いと思う。
- ・ 事前に議案を読み込んでない。資料も見えていないと思われる。
- ・ 交付税と予算計上の仕組みがわかっていない。
- ・ 説明していないのに質問することはおかしい。

→ (提案) 水道事業会計について説明いただく機会を求める

【社会文教常任委員会】

- ・ 自分として、準備不足でした。
- ・ 常任委員会は、手際よく運営されて定刻で終わった。終わりは遅くなるのは、体調管理のためにも好ましくないと思いますが、事情が許せば、例えば30分でも早く始められるとよいのではないのでしょうか。提案される議案によっても

(説明)

→ 審議を2時間に目標設定したことについて、兼業議員の夜間開催の環境整備について、毎回夜間やる訳でない。30分早める環境が可能かどうか総合的な判断が必要。兼業議員の意見を聞いて判断すべきでは。当初より午後7時から9時にした理由は話し合ったと思いますが。6時30分に可能とする場合のご提案を。

- ・ このような状況下では、進行される正・副委員長のご苦労が大変であったと思うが、スムーズに進行され、質疑も限られた時間の中においては足りないくらい出され、委員会審議は良かったと感じた。

- ・時間不足を改善するには、経験による“勘”が働くようになることや、要領によりカバーできることもあると思う。

- ・報道関係陣に囲まれなくなった将来の審議にも、緊張感を緩めずに議会に臨むモチベーションの保持が必要。(個人的、全体的に)

- ・請願の趣旨採択は残念の極み。

(説明)

→委員会で決定したとしても、議員の権利として一部修正して発議することもできる。

- ・委員会質疑に関しては、報道関係者を意識してか、質疑・答弁共に活発に出され、会の進行上良かった。

- ・また社会文教委員会においても、審議内容は濃かったと思う。

- ・よく考えられた協議内容であり、時間配分も良かった。議員も事前学習・検討が良く表れた発言だった。ただ、発言の中に良い質問・意見ともしない質問・意見があったように思う。もう一つ踏み込むと良い発言になったのではないかと感じた。ただ、議員も職員も発言内容をもっと的確にわかりやすくまとめて発言するよう心掛けたらと感じた。

- ・自由討論ができなかった。

- ・受動喫煙について判断が分かれるところ。議員執務室の環境整備ができたので、委員長が原案どおり可決したければ議論するなど熱意を持って欲しい。

【総務産業建設常任委員会】

- ・平成 29 年度 8 月 8 日の人事勧告、補正予算で有り審議の内容が浅く感じた。

- ・ 事前に資料を読んであったので、十分な審議ができたと思う。
- ・ 議案・協議事項は、それぞれ事前に配布・提示が有り、委員会までに十分な時間が有ったと思うが、事前に調査・研究、意見・提案・提言の準備がどれだけされて来たのか、疑問に感じる委員会審議があった。
- ・ 職員の議案説明は簡潔で解りやすかった。
- ・ 議員報酬の一部を改正する条例の審議のみ賛成意見を言い、特別職や一般職の報酬の一部改正の条例の審査で賛成意見が無かったのは、まずいと思う。
- ・ 議会報告会での村民の意見の検討で、役場職員の説明に質問が出なかったのは真剣に論議している印象を与えなかった。
- ・ 議会報告会での村民の意見の検討で、資料を読んで自分の考えをまとめていない議員が見受けられた。討論はフリートークではなく、雑談になっていて傍聴者には理解できなくつまらなかったと思う。
- ・ 議員の目的が委員長から事前に知らされていたが、村への提言事項をまとめるどころか審議と言うより雑談となっていた。傍聴者にもしらせさせてしまったのではないか。
- ・ 審議内容は議会報告会・地区懇談会での回答をまとめることとなっているので引き続き早めに回答を作成して欲しい。
- ・ 資料はかなり早く配られたはず。委員長と相談してきちんとした打合せをするべきだ。
- ・ 総務産業建設常任委員会は範囲も広く付託議案が多い、一方社会文教

常任委員会は付託議案も少ないが勉強会や課題を絞り込んで深く調査研究ができる。担当部署や構成を検討する必要がある。

・議会報告会において寄せられた意見については、議会だよりで掲載し回答することをお願いしたい。

【一般質問について】

・もったいない質問や委員会で聞くべき質問があった。村側に実態を聞くより、自分で事前に調査・研究し、自分なりの意見を質問すべきではないか。

(説明)

→一般質問を議員同士で検証し、その後の調査研究課題にする取り組みをしている議会があることから批判するのではなく、改善点を出し合う仕組みを検討してはどうか。

・通告書に資料を載せた質問があったが、傍聴者には解るが、くりんネットを聞いている聴取者には質問の内容が理解できなかったのではないか心配。ホームページは一部の方しか見ない。資料の説明を受けないと何を言いたいのか解らない。

(説明)

→ご指摘のとおり。

・国保・介護保険について、複雑かつ専門的過ぎて住民に解りやすい質問でなかった。

・11:50分から始まるクリンネット定時放送を避けた一般質問のタイムスケジュールは、今後も継続されたい。

・これまでのことがわかりませんが、一般質問は土曜日開催で、傍聴者が

多かったのでしょうか。モニターの方や傍聴された方のご意見が聞かれればと思います。

(説明)

→モニター制度をご理解願います。モニターからは意見が寄せられています。議会だよりでも取り上げています。一般傍聴者・クリンネット傍聴者からは感想や意見を聴取していません。質問紙の作成が大切ですので是非議員各位で検討してください。

・一般の傍聴者が意外と少なかったように思えた。初の夜間・休日を実施するにあたり、村民の皆様には周知は十分できていたと思うがまだまだ浸透していなかったか、反省材料として残る。

・一般質問の休日は傍聴人（報道関係者含む）が多く来て真剣に取り組むことが出来、1日が短く感じた。

(説明)

→一般質問は政策論争する場所。傍聴人のために行うのは単なるパフォーマンスに陥りますので、ご注意願いたい。

・事前に調査をお願いしてあったので、詳細な回答をいただいてよかった。

(説明)

→調査研究するのは議員の仕事。調査研究の上で疑義が生じる部分を質問するのはよいが職員に調査を依頼するのはルール違反。

・前回の反省で下を向く姿勢について指摘があったが今回は明らかに居眠りをしている方が居た。

・一般質問は日曜日の開催にして欲しい。知り合いの自営業者からは土曜日仕事であるから日曜日にして欲しい。合わせて祝祭日も検討すべき。

・一般質問の前日は委員会日程等を入れない様にして欲しい。最後の最後までより良い質問にするための準備が必要である。

- ・ 通告書については、議長副議長に確認を得て事務局に提出することとなっているが、ルールが守られていない。副議長は全く読んでいない。こっそり事務局に出す議員もいる。ルールが守れないのなら止めてもいいと思うがどうか。

→議長に相談できる。ダブった質問もない。この制度は続けて欲しい。

- ・ もったいない質問は止めて欲しいという提案は議長としてできた。ダブった質問、本来村にする質問でないもの、ただ数字を聞くだけの質問はご遠慮願いたい旨は伝えた。内容等については議員の力量によるところであるのでその点は口を出しません。

- ・ 副議長に聞く。議長副議長でというルールであるのに議長だけに任せるのは長く続けていく上でどう考えているのか。

→いい訳になるが時間がなかった。今後は議長と一緒にやりたい。

- ・ 最初にメールで事務局に送ったが、提出として認められるか。

→あくまでも事務局を通じて出していただければよい。相談がある方は事前に相談を。データを事務局に提出いただきたい。一般質問検討会の後答弁者を入力してHPに9月より掲載している。内容については分かりやすさを心掛けて欲しい。

- ・ 一般質問の際に居眠りをしている議員がいると前回の9月定例会の反省に出したが今回も居眠りをしている議員がいた。見ている側は「自分の質問以外は堂でもいいのか。」という意見が寄せられている。姿勢の面でもポケットに手を突っ込むなど慎むべき。

- ・ 目をつぶるのは大変良くない。立ち居振る舞いが良くないので確認すべきであると思う。

【その他】

夜間開催となったことで、仕事を休む日数は減ったが、議会のために費やす時間が増えることにはなりません。両立しやすいとは言い切れない。準備の時間をどうつくり出すかが課題です。審議時間がもっと必要になることがあるかもしれません。そのような場合は、やはり昼間開催が必要。

(説明)

→当初より弾力的に議会運営を行うルールとなっている。必要に応じて委員長が判断して決定こととなっている。

→議員活動する時間をどう作っていくかが課題。

→夜間にあったことで仕事しながら空いた時間に時間を見つけてやることで相対的に時間が増えた。時間やお金より自分が議員としていることを考えると寝る間も削って時間を取ることで職責が果たせると思っている。

・習うより慣れろで半年間の経過を見た中で、常に緊張の連続であり、議会改革の具体的な開始時期とも重なっていたが、心身ともに議会はこういうものだという浸み込みができ、受け入れの態勢はできつつあることを感じている。

・時勢から後退してはならない。

・質疑の量、質はこれからもっと高めなければならない。数字や金額に関するものは如何なものか。

・質問に対して個々の意見の統一とは言わないが、議員それぞれの考え方を知っておくべきか。

・議会の目指す方向は、賛成、反対に関わりなく共有しておくべきではないか。

(説明)

→喬木村議会に会派はない。議員相互の情報交換・意見交換は討論の場では解りません。研修会や勉強会、議員全員協議会で論じ会うことが必要ではないでしょうか。

- ・ 今後はあまりないと思うが、取材等の場合事務局を通じ指示できるように願いたい。例えば、予算委員会途中の休憩時間の後、NHK 記者から議長へ

の取材をしたいので、休憩の時間を少し伸ばしてという話があったが、いつ取材が終わったのか伝達がなく、15分の再開が1分ほど遅れた形になった。こうした場合事務局に依頼し取材終了を事務局から指示していただけると会の進行がスムーズにいくのではと感じた。

(説明)

→事務局は交通整理する役目です。委員会の運営・進行は委員長以外にできませんので、遠慮なく再開宣言していただければ結構です。

- ・ 今定例会は新たな取り組みのスタートの議会、夜間、休日議会の検証は、今回だけでは結果を見ることはできない。今後3回の定例会の取り組みを見ながら、村民の意見や、行政職員、雇用主等の意見を聞き、一つずつ検証しなければならない。最終的には4年後の選挙結果にどう反映されるかだ。

- ・ 議会モニターの人達に休日、夜間会議の呼びかけをしたら良いと思います。

(説明)

→モニターには毎回お願いしています。

- ・ 休日会議で有り中学生に議会の在り方を理解してもらうために見学させてはどうか

(説明)

→是非地域や学校の保護者に働きかけをお願いします。しかし、目的が明確でなければなりません。一般的に議会への提言。村長への提言の機会を作っている目的は、生徒の視点でどんなことに課題を感じているか。生徒を通じて保護者がどのようなことを考えているのか間接的に捉えることができる事が上げられます。目的や効果だけでなく学校・保護者の理解を得るための活

動が必要になりますのでご提案下さい。

- ・ 事前資料のメールを受け取ったが、圧縮ファイルを開くことができず結局直接取りに行った。解凍ファイル直接をもらったが、うまく機能するのか。今後の研究課題である。事前資料のメールなどトラブルなく受け取れるようにしていきたい。

(説明)

→ネット環境等は事務局では把握できなかった。事務局だけの問題なのか。個々の問題があるのか。互いにチェックする必要がある。

- ・ 事前準備は、夜間だろうと昼間だろうと関係なく、議員として当然の責務であると感じる
- ・ 2時間の審議と言うことで事前準備のための調査研究に今まで以上に時間がかかったが心地よい疲れで充実感が得られた。一方で体力的に持つか心配であるが職責を果たしていきたい。
- ・ 議会は最高議決機関であると認識する。その常任委員会の協議内容としては如何なものか。偉そうな事は言えないし、感情論になってもいけません。それでも、仕事の合間に時間を削り出し調査・研究をし、寝る時間を割いてでも審議に向けての準備をし、微力ながらも委員会の一員としての責任を果たそうと努力している一人としては残念に思う。
- ・ 報道機関により注目を浴びているからでは無く、議員としてのあり方を改めて認識し、今後も村民の付託に応えられる議員となれるよう努めて参りたい。

(改善・提案)

- ・ 傍聴者の視点を考える必要がある。傍聴者に「村及び議会で検討・論議

して欲しい事」「傍聴しての感想・意見」等のアンケート用紙を配ることで、村政に参加してもらうことも大事。

(改善・提案)

・全員協議会を毎月開催することを検討したらどうか。(村と議会が早期に連絡調整や情報共有をするため)

→3ヶ月に1回では情報共有した方がよい。

(改善・提案)

・議案配布から委員会まで2～3週間の日があり、議案を読まない議員は議員の資格はない。読む気がないなら、日程をすべて会期後半にする必要はない。一般質問を会期の前半に、委員会質疑を会期の後半にしたらどうか。

(一般質問など自宅で傍聴している方の意見反映も含めて検討が必要。ICTプロジェクトにおいては現在パブリックコメントやアンケートを端末で吸い上げるシステム導入を検討中。若い人からの意見が期待できる。阿南町議会はアンケートを配布して意見をとって議会運営に活かしている。)

→早急にアンケート実施が必要と考える。飯田市の市議会も行っている。

(改善・提案)

・子育て中や孫を看ている女性も傍聴しやすいよう、「託児制度」の検討
(人件費の問題もあるが、提言すべき内容)

→使う人がいないではなく、喬木村議会は子育て中の女性に対する配慮する姿勢を示すためにも前向きに検討が必要と思う。

・喬木村議会の審議の流れについて・活用方法についてどうするか。

→全戸に配ってはどうか。持ち帰りたいという意見があった。後援会関係者から欲しいという話があった。傍聴者にも配って欲しい。

→予算の事もある。傍聴には返して守りたい。議員が地道に議会活動をお話しするツールとなる。議員から手渡しすることが大切。

・就業状況調査について、繁忙期について記入いただきたい旨をお伝えしましたが提出ありませんので、次回の全員協議会までにまとめたい。公表してもいいのかどうかも含めて検討が必要。最終日を終わって現時点での意見を出して欲しい。